※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ国語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「パスポート国語必携」　（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーション国語Ⅰでは、生涯にわたって役に立つ国語常識の定着を目指します。
また、３年生での就職試験や入学試験を見越して、適性検査「ＳＰＩ」や公務員試験の対策、進路にまつわる基礎知識などを学習します。
提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

［知識及び技能］：１年で学習した基礎国語の内容(漢字・慣用句・語彙)の定着を図り、書き込み式問題集・プリント学習を行う。
［思考力、判断力、表現力等］：３年での就職試験や入学試験に向けて総合的な学習を行う。
［学びに向かう力、人間性等］：基本事項の確認をしながら、国語力、国語常識の伸長を目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・漢字について、読み、書き、部首の判別、熟語に関する知識を養う。 ・常用漢字を用いた語彙を学び、語彙力を増やす。 ・学習した漢字や語句を適切に用いて文章を書く。	・漢字を用いた短文の読解を通じ、文意を正しく理解する力を養う。 ・目的や場の状況に応じて、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。	・言語活動を通して、コミュニケーション方法を振り返りよりよいコミュニケーションができるよう自己分析を行える姿勢を養う。 ・自己の能力に対する自信と意欲を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期	漢字・慣用表現	漢字・慣用表現・文学史などの国語常識を知る。	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、語句や語彙の用法等を理解する。 b:[読・書]学習した内容をもとに漢字を分類し、書き取り問題に取り組んでいる。 c:学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	小テスト 記述の確認 定期考査	記述の確認 行動の観察
3学期	就職・進学対策	SPI・公務員試験の練習問題や、作文、履歴書の書き方を知る。	a:漢字・語句・語彙の用法を理解するとともに、原稿用紙や履歴書の書き方を理解する。 b:[読・書]学習した内容をもとに漢字を分類し、書き取り問題に取り組んでいる。 c:学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	小テスト 記述の確認 定期考査	記述の確認 行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度